美波　地方創生だより　vol.19

地方が直面する様々な問題に、真っ向から立ち向かおうとする小さな町の挑戦 ――
５カ年計画の後半期を迎えた「美波ふるさと創造戦略」は、今や地方創生のホットワード「美波町モデル」として全国から注目を集めるようになりました。
ひとりひとりが自分事として、住民総参加で進めることを提唱した「美波ふるさと創造戦略」の取り組み、美波町ならではの地方創生を紹介していきます。

次世代育成にサテライトオフィス関係者が連携！

６月15日、日和佐小学校６年生の教室ではサテライトオフィス企業・株式会社兵頭デザインの兵頭将勝代表が講師となり、「兵頭デザイン道場 とくしま」と銘打ったデザイン教室が開かれました。児童たちは自分自身を表すロゴマークを考え、描き、さらにそれをデザインとして盛り込んだ名刺作りに挑戦するという今回の授業。

恵比須浜にサテライトオフィス 美雲屋を置く株式会社鈴木商店の小林武喜さん、門前町にあるat Teramaeのメンバーでもある TAISHI ART WORKSの磯中太志さんら、Webデザイン、絵画の専門家もサポートとして参加しました。

最初は戸惑いや緊張も見られましたが、兵頭さんの気さくな人柄に触れ、すぐに普段の調子を取り戻した児童たち。講師陣には次々と質問が寄せられ、最後にはクラス全員が声を合わせて「デザインに興味を持てた」「デザインが好きになった」と元気良く答えてくれる場面もありました。

「子どもたちに楽しんでほしいと思い企画しましたが、私が一番楽しんでいた気がします。本当に良い時間をもらいました。感動しました。」と授業の感想を語った兵頭さん。「今後も様々な場面で、このようなサテライトオフィス関係者や移住者の連携による町への貢献ができれば。」と、他の参加者からも頼もしい声が相次ぎました。

児童のイメージを丁寧に聞きながら、名刺を作成をする兵頭さん。

上･児童が描いた「自分自身をイメージしたロゴマーク」。
左・積極的な児童達に講師陣も大忙し。

地域のお困りごとにサテライトオフィス企業が協力！

「持ってはいるけれど、使いこなせていない」「ちょっとした疑問を気軽に相談できる場が欲しい」といった地域の方々の声を受け、ひわさ交流施設「はまひるがお」でスマートフォン教室を企画・開催。同事務局からの相談を受けた施設近くのサテライトオフィス企業・株式会社あわえの社員が講師を担当しました。

このようなちょっとしたお困りごとこそが地域課題と呼ばれているものです。サテライトオフィス企業には今後も皆さんとの交流を深め、その中からより暮らしやすい町となるよう、地域課題解決のヒントを見つけていってほしいものです。

基本操作、安全対策などを熱心に学ぶ参加者達。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館１階
由 岐 地 区：由岐ふれあいホール（ぽっぽマリン２階）